

# 女性活躍モデル工事

事例① 都営住宅28H-104東(江東区南砂三丁目)工事【住宅政策本部】



配筋検査を行う加賀屋さん(左)と古宮さん(右)。

## もっと女性が活躍できる建設業へ

今後の建設業界を、女性が力を存分に発揮できるものにするため、当現場を日連建が提唱する「けんせつ小町」に登録しました。仮囲いにPR看板を提示すると共に、将来の建設業を担っていく小学生に向けて見学会を開催し、2名配置されている女性職員が率先して説明することで、好評を博しました。

また、女性職員の意見を取り入れることに加えて、新規入場する女性作業員へのアンケートを通じて、環境整備をより良くする取り組みが続けています。一例として、専用トイレや更衣室の設置は当然として、更に手荷物用カウンターやアクセサリ置場の設置といった工夫を取り入れました。

加えて、タブレット端末の利用等による現場業務の効率化の推進は、将来的には時差出勤や帰宅制度など、子育て世代に対応できる制度を視野に入れた取り組みの一つです。

## 技術者の声

### プロフィール



株式会社 株木建設株式会社  
都住南砂作業所  
加賀屋 綾香  
2010年入社

大学では意匠設計を専攻しました。入社後は設計部に所属し、現在は当現場において施工図の作成や鉄筋工事を担当中です。

### Q 本工事に携わっていかがでしたか

今回の工事に携わり人へ伝えることの難しさを痛感しました。見学会では、小学生にも分かりやすい説明を心掛けましたが、説明に加え体験してもらう場面があればもっと伝わったのではという反省があります。また、PRの活動で所員とのコミュニケーションが増え意見も発言し易くなりました。実際に発言したことで女性用に化粧室が整備され、作業着や安全靴の色が明るくなりました。

### Q 建設業を目指す方へのメッセージをお願いします

建設業界は“男社会”というイメージが強いと思います。私が入社した頃はまだそんなカラーが強かった様に思います。でも今「けんせつ小町」という愛称が私たち建設業で働く女性に与えられたことからわかるように、働く環境が整いつつあります。正直体力的に厳しいときもあります。女性としての意見もみなさん親身になってくれますし何より自分が携わった現場が完成した時の喜びは大きいです。



準備工事期間中 女性用仮設トイレの目隠し壁へ装飾している様子。作業員の方に好評を頂いています。

### 思い出の現場

設計部から異動となり初めて配属された千葉県船橋市の集合住宅の現場です。内勤の頃とはガラッと環境が変わりましたし、何より図面に描かれているものが実際に建物の形に変化していく様子がわくわくしたことを昨日のことのように覚えています。



完成後の外観写真。